

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	05	164260	農村施設維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		11,283	28,413		17,130
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	7,600	27,900		20,300
	その他	0	0		0
	一般財源	3,683	513		-3,170

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度
------	-------	------	---------------

部重点施策における目標

観光資源の充実
大迫地域への観光客の増加を図るため、施設等の整備活用を図る。

事業開始の背景・経緯

観光客に対するおもてなしの向上を図るため、観光施設の良好な維持管理を行う必要がある。
観光施設の経年劣化があり、長寿命化を図る大規模改修の必要がある。

事業概要

大迫ふるさとセンター空調設備更新 6,820千円
自然休養村センター耐震補強工事実施設計、耐震補強工事等 21,593千円

担当部署	22140000 大迫支所 大地(商工)	担当課長	高橋 哲也
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

農村施設維持事業費 28,413千円

【現状】施設の経年劣化による老朽化
雨漏りの発生
設備等の老朽化による破損
観光客のイメージの悪化
施設利用者の満足度低下
安全、安心への懸念

【対応策】
小規模修繕での対応
修繕対応不可
利用状況低下 後年度への懸念 解体撤去
大規模改修の実施

R 2 実施事業
・大迫ふるさとセンター空調設備更新業務 6,820千円
<概要>
温風暖房機の劣化により能力が低下しており、修理を重ねているがその交換部品も供給がなくなっていることから更新を図るもの。
また、暖かい空気が上へ流れてしまい、ホール内がうまく暖まらない状況であることから、エアースイングファンを取り付け暖気の循環を図るもの。

参考：過去の大規模改修の実施
R 1 農村施設高圧機器更新業務 6,696千円
H 3 0 大迫ふるさとセンター屋根改修工事 24,851千円
H 2 9 ホテルステイヒル屋根改修工事 17,351千円
大迫ふるさとセンター耐震診断業務 1,566千円
H 2 8 大迫森のくにセンター屋根改修工事 21,512千円

【自然休養村センター耐震補強工事実施設計、耐震補強工事等 21,593千円】

自然休養村センターの建物は、昭和51年に建築された建物であり、老朽化が進んでいる。当該施設は指定緊急避難場所となっている湯口振興センターに隣接しており、地域づくり・生涯学習の場となっていることから、施設の安全性と長寿命化を図るために耐震補強工事実施設計、耐震補強工事等を実施した。

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	05	164260	農村施設維持事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174320	観光イベント開催事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		60,900	190		-60,710
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	60,900	190		-60,710

特定財源の内訳					
事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度

部重点施策における目標
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯
地域資源の保全と魅力アップを図り、観光誘客の場として活用する。

事業概要
まつり、イベントの開催経費の一部を負担する。
南部杜氏の里まつり（R2で第40回） 田瀬湖湖水まつり イーハトーブ音楽祭 石鳥谷まつり あんどんまつり イーハトーブフォーラム 石鳥谷まつり 花巻まつり 花巻まつり特産品フェア 土沢まつり 大迫ワインまつり わんこそば全日本大会 大迫・宿場の雛まつり
事業費合計：61,100千円 上記イベントのうち、開催は イーハトーブ音楽祭のみ 190千円

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

まつり、イベントの開催経費の一部負担（単位:千円）

【目的】市がまつり・イベントの実行組織等に財政的な支援を行うことで、まつり・イベントが円滑に運営され、もって交流人口の拡大とそれに伴う賑わい創出や消費拡大等地域活性化を期すもの。

イベント名	事業費	負担金額	開催日	R2入込数
南部杜氏の里まつり実行委員会負担金	0	0	【中止】6月上旬	0
田瀬湖湖水まつり実行委員会負担金	0	0	【中止】7/25（土）～26（日）	0
イーハトーブ音楽祭実行委員会補助金	397	190	12/20（日）	150
石鳥谷まつり実行委員会負担金	0	0	【中止】8/13（木）	0
あんどんまつり山車保存会負担金	0	0	【中止】8/14（金）・16（日）	0
イーハトーブフォーラム実行委員会負担金	0	0	【中止】8/22（土）～23（日）	0
石鳥谷まつり実行委員会負担金	0	0	【中止】9/8（火）～10（木）	0
花巻まつり実行委員会負担金	0	0	【中止】9/11（金）～13（日）	0
花巻まつり特産品フェア実行委員会負担金	0	0	【中止】9/11（金）～13（日）	0
土沢まつり実行委員会負担金	0	0	【中止】9月中旬	0
大迫ワインまつり実行委員会負担金	0	0	【中止】9/20（日）	0
わんこそば全日本大会運営委員会負担金	0	0	【中止】R3.2/11（木・祝）	0
大迫・宿場の雛まつり実行委員会負担金	0	0	【中止】R3.2月中旬～3月上旬	0
合計：190千円（前年度比 60,710千円）				150

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174320	観光イベント開催事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174330	広域観光推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,396	660		-736
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,396	660		-736

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和2年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯
花巻温泉郷を中心とした宿泊受入基盤と広域的な観光資源の組み合わせによる観光誘客の相乗効果を発揮させる。

事業概要
釜石線沿線活性化事業支援 400千円 釜石線沿線の自治体等が連携してS L 銀河の運行を軸とした観光PRを行う釜石線沿線広域エリア活性化委員会への負担金 産業観光/体験観光広告宣伝 260千円 北上市と連携し広域的に両市の産業観光や体験型観光をPRする動画を作成 花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業補助金 0千円 花巻・遠野・平泉観光推進協議会への事業補助 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、補助事業未実施。

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

広域観光推進事業 R 2 660千円（前年度比 640千円） 釜石線沿線広域エリア活性化委員会負担金 400千円（前年度比±0） 釜石線沿線広域エリア（花巻・遠野・釜石・住田・大槌）、JR等が共同で実施する誘客事業への負担金 ・S L 銀河の運行に合わせた誘客事業 ・JR東日本が作製するパンフレットへの広告掲載 産業観光/体験型観光PR動画作成 260千円（前年度比 40千円 R1はパンフレット更新） 北上市と連携し広域的に両市の産業観光や体験型観光をPRする動画を作成 ・PR動画作成業務委託 花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業補助金 0千円（前年度比 600千円） 広域観光誘客事業で3市町の魅力をPRする花巻・遠野・平泉観光推進協議会への事業補助 ・3エリアの観光施設を周遊させる特典付き誘客企画の実施 コロナ禍により中止 ・台湾を中心に現地旅行会社セールスや商談会等へ参加 コロナ禍により中止

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174330	広域観光推進事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174380	観光施設維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,932	27,929		25,997
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	11,200		11,200
	その他	0	15,000		15,000
	一般財源	1,932	1,729		-203

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

観光資源の充実と発信力を高め、交流人口の拡大と観光客満足度の向上を図ります。

事業開始の背景・経緯

観光客に対するおもてなしの向上を図るため、観光施設の良好な維持管理を行う必要がある。観光施設の経年劣化があり、長寿命化を図る大規模改修の必要がある。老朽化により未使用となった施設等については、安全確保のため、解体撤去の必要がある。

事業概要

観光施設の大規模改修の実施

- 交流会館屋上防水改修業務委託 330千円
- 大迫ワインハウス早池峰厨房機器更新 12,540千円
- 花巻市交流会館吸収冷温水機取替業務 15,059千円

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

観光施設維持事業費 R 2 27,929千円（前年度比+25,997千円）

【現状】施設の経年劣化による老朽化
雨漏りの発生
設備等の老朽化による破損

観光客のイメージの悪化
施設利用者の満足度低下
安全、安心への懸念

【対応策】
小規模修繕での対応
修繕対応不可
利用状況低下 後年度への懸念 解体撤去
大規模改修の実施

R 2 実施事業

・交流会館屋上防水改修設計業務 330千円
<概要>
昭和58年建築から35年以上経過し、雨漏りが発生しているため、屋上防水改修工事を行うもの。

・花巻市交流会館吸収冷温水機取替業務 15,059千円
<概要>
昭和58年建築当時から使用していた当該機器2台のうち1台が故障し、もう1台が故障した際館内の冷暖房が使用できなくなるため、新規機械を導入するもの。

・大迫ワインハウス早池峰厨房設備更新業務 12,540千円
<概要>
使用期間37年を経過している厨房機器について、劣化が著しい状態であり、また、平成30年6月13日より公布となった、新基準HACCP義務化により厨房内の衛生管理の徹底が必要となったことから、厨房機器及び付随するガス・水道・電気・排気を含めた厨房改装を行うもの。

参考

R 1 実施事業

ステップインはなまき照明LED化業務 2,165千円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174380	観光施設維持事業費

事業手法の詳細 2					
R 3以降 交流会館屋根防水改修 68,000千円					

事業手法の詳細 3					
-----------	--	--	--	--	--

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174410	道の駅「石鳥谷」施設再編事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		87,663	264,922		177,259
財源内訳	国費	0	82,369		82,369
	県費	0	0		0
	地方債	40,800	147,000		106,200
	その他	0	0		0
	一般財源	46,863	35,553		-11,310

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成30年度	~	令和5年度
------	-------	------	--------	---	-------

部重点施策における目標

1 地域の特色を生かした賑わいと活力あふれるまちづくりを推進します。(しごと)

事業開始の背景・経緯

道の駅「石鳥谷」は、平成5年に県内第1号の道の駅に指定されて以来、約四半世紀が経過したことから、施設の魅力向上、利便性の向上を図るため、再編整備を行う。
--

事業概要

南部杜氏伝承館の曳家等工事・改修設計等 157,736千円(うち繰越明許費130,338千円) 酒匠館・りんどう亭大食堂改修設計 40,601千円(うち繰越明許費39,391千円) 外構部の各種設計及び支障物件撤去 46,456千円(うち繰越明許費33,184千円) 国駐車場拡張用地取得 19,973千円 国や関係機関、団体との協議・共通経費 156千円
--

担当部署	23140000 石鳥谷支所 石地(商工)	担当課長	藤原 良浩
------	-----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

市政懇談会などで、道の駅「石鳥谷」の施設再編を望む意見がある。

事業手法の詳細1

令和元年5月 「道の駅『石鳥谷』施設再編基本構想・基本計画」策定 国道4号の道路管理者(国土交通省)と連携し、道の駅「石鳥谷」の施設再編を通じて、施設の魅力や利便性の向上を図り、交流人口の拡大、賑わいの創出に寄与する。 令和2年度は、基本構想・基本計画や各種設計に基づき施設の移設や内装等改修に着手した。 1 南部杜氏伝承館の曳家等工事・改修設計等 157,736千円(うち繰越明許費130,338千円) 曳家等工事、同工事監理業務委託、耐震改修工事、出入口工事、展示改修設計、伝承館内の展示物搬出等を行った。 2 酒匠館・りんどう亭大食堂改修設計等 40,601千円(うち繰越明許費39,391千円) 酒匠館・りんどう亭大食堂の新設出入口や内部等の改修のための実施設計を行ったほか、りんどう亭大食堂の新設出入口や内装等改修工事を行った。 3 外構部の各種設計及び支障物件撤去 46,456千円(うち繰越明許費33,184千円) 身障者駐車場屋根や駐車場の実施設計、浄化槽撤去(南部杜氏伝承館・酒匠館)、受変電設備撤去・新設工事等を行った。 4 国駐車場拡張用地取得 19,973千円 現行の道の駅「石鳥谷」北側の国駐車場拡張用地に係る用地を取得した。(土地開発基金へ支出(振替)) 5 国や関係機関、団体との協議・共通経費 156千円 施設再編運営検討委員会及び展示改修設計業務委託プロポーザル選定委員会をそれぞれ2回開催した。

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174410	道の駅「石鳥谷」施設再編事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174420	地域産業安定化事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		66,508	0		-66,508
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	65,000	0		-65,000
	その他	0	0		0
	一般財源	1,508	0		-1,508

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	
			~

部重点施策における目標

地域の特色を生かした地域づくり

事業開始の背景・経緯

地域の観光産業の一翼を担う(株)とうわ地域資源開発公社は、平成28年度及び平成29年度決算において当期純利益が2期連続赤字となったことから、「経営健全化計画」により売上向上を図るとともに、市は「経営健全化方針」による支援を行い、経営健全化に取り組む。

事業概要

経営改善事業補助金 0千円
 (株)とうわ地域資源開発公社の売上向上を図るため、専門的な経営コンサルティングに係る費用(3,000千円)に対し、1/2の補助金を交付する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、売上げが著しく減少し経営状況が厳しいことから、経営コンサルティング業務を委託することができないため事業の執行を見送った。

担当部署	24140000 東和支所 東地(商工)	担当課長	菊池 郁哉
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

平成30第3回市議会定例会で(株)とうわ地域資源開発公社の平成30年度及び平成29年度の経営状況報告の際、老朽化した温泉施設設備の改修費用について市の支援を検討している旨報告している。

事業手法の詳細1

(1) 経営改善事業補助金 0千円

補助金の概要

(株)とうわ地域資源開発公社の売上増加等による経営改善を図るため、専門的な経営コンサルティング費用に対し、1/2の補助金の交付を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、売上げが著しく減少し経営状況が厳しかったことから、経営コンサルティング業務を委託することができないため事業の執行を見送った。

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174420	地域産業安定化事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174440	観光・物産事業者等緊急対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	594,313		594,313
財源内訳	国費	0	376,250		376,250
	県費	0	198,479		198,479
	地方債	0	0		0
	その他	0	30		30
	一般財源	0	19,554		19,554

特定財源の内訳					
事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	～	令和2年度

部重点施策における目標
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します
事業開始の背景・経緯

新型コロナウイルス感染症拡大による観光客の激減に伴い、事業活動や経営、雇用の継続に影響を受けている事業者を支援し、もって観光・物産関連事業者の事業継続や雇用維持の一助となることを目的とする。
事業概要

温泉宿泊施設支援事業 541,060千円 温泉等の利用料金助成や物産品があたるキャンペーン等の実施 花巻市共催等イベント事業中止に伴う経費補助等 5,114千円 新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となったイベントの経費補助 観光関連施設事業持続支援金 1,400千円 施設のコロナ禍による休館に伴い影響を受けた事業者の支援 宿泊施設等関連事業者支援金 9,020千円 市の休業協力依頼に応じた温泉宿泊施設等と取引のある事業者の支援 貸切バス事業持続支援事業 32,600千円 貸切バスの維持・整備費等の経費に対する支援 次年度まつりPRイベント開催支援事業 445千円	山車団体まつり参加継続支援事業 4,674千円
---	-------------------------

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1 温泉宿泊施設支援事業 541,060千円 ・市内温泉宿泊施設等35か所の利用料金（日帰り・宿泊ともに）を助成、事業PRチラシも作成 6月：市民対象最大4千円 7月：県民対象最大4千円 8月：市民対象2千円 9月：県民対象最大4千円 10月から2月19日：県民対象2千円 2月20日から：県民対象最大4千円 ・上記の宿泊者を対象に市内物産品があたるキャンペーンを2回にわたり実施。およそ2,000名が当選 花巻市共催等イベント事業中止に伴う経費補助等 5,114千円 ・着手後に中止となったイベントについて、ポスター・チラシ等印刷費や郵送料、会場等の経費を上限20万円を上限に補助 観光関連施設事業持続支援金 1,400千円 ・市内観光関連施設の休館に伴い、売上減少等の影響を受けた周辺事業者（飲食店やお土産屋等）を支援。14施設に対しそれぞれ10万円を支給 宿泊施設等関連事業者支援金 9,020千円 ・緊急事態宣言の発出を受け市の休業協力依頼に応じた温泉宿泊施設等と取引のある事業者を支援。取引のある宿泊施設1か所につき3万円、20万円を上限に91事業者に支給 貸切バス事業持続支援事業 32,600千円 ・運行がなくとも車検等の固定経費が発生する貸切バスの維持・整備費等の経費を支援。バス1台あたり20万円を2回にわたり市内バス事業者に支給 次年度まつりPRイベント開催支援事業 445千円 ・今年度中止となったものの、次年度開催に向けまつりをPRするイベントの開催に対し支援。12月に開催を予定していたが、感染状況拡大によりこのPRイベントも中止となった。補助率は10/10 山車団体まつり参加継続支援事業 4,674千円 ・来年度の運行に向け、山車の計画的な修繕・更新費用等を補助。補助率は10/10、20万円を上限として市内の24団体に対し補助
--

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174440	観光・物産事業者等緊急対策事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174450	観光施設等感染症予防対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	18,999		18,999
財源 内訳	国費	0	18,503		18,503
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	496		496

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和2年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します。

事業開始の背景・経緯
新型委コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言の対象地域が岩手県を含むすべての都道府県に拡大されたことを受け、大型連休の4月29日から5月6日までの間、市内宿泊施設及び県外客の多い飲食店に対し、休業の協力依頼を行い、感染拡大防止を図る。

事業概要
感染拡大防止協力金 10,500千円 感染拡大防止のため休業の協力依頼に応じた宿泊施設や日帰り温泉施設、飲食店等の事業者に対し休業協力金を支給 宿泊施設感染症対策等整備事業 5,946千円 宿泊施設における新型コロナウイルス感染症対策のため、市内の宿泊事業者が感染症対策整備を行う場合に、当該整備に要する経費を補助する。 貸切バス事業者感染予防対策事業補助金 2,553千円 R3.4月から東北DCが実施されることに伴い、事前に感染予防対策を講じる必要性があることから、空気清浄機、アクリル板設置など、感染対策に要する費用について支援を行う。

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
1. 感染拡大防止協力金 10,500千円 感染拡大防止のため休業の協力依頼に応じた宿泊施設や日帰り温泉施設、飲食店等の事業者に対し休業協力金を支給 2. 宿泊施設感染症対策等整備事業 5,946千円 宿泊施設における新型コロナウイルス感染症対策のため、市内の宿泊事業者が感染症対策整備を行う場合に、当該整備に要する経費を補助する。 3. 貸切バス事業者感染予防対策事業補助金 2,553千円 R3.4月から東北DCが実施されることに伴い、事前に感染予防対策を講じる必要性があることから、空気清浄機、アクリル板設置など、感染対策に要する費用について支援を行う。

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174450	観光施設等感染症予防対策事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174470	イベント開催時感染症対策支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	1,009		1,009
財源 内訳	国費	0	1,009		1,009
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	0		0

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

市民団体から感染症対策機器等を各主催者が個別に準備することが大きな負担となることから、市で機器を購入し貸出しできないかとの要望があったことから、イベントによる機器の必要数を庁内調査し、イベント実施時期の重複や、機器の雨天時利用を考慮し購入するもの。

事業概要

- 感染症対策機器の購入 1,009千円
- ・体表面温度計測器の購入及び貸出し
- ・消毒器自動噴霧器の購入及び貸出し

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細 1

イベントにおける感染症対策支援事業
 イベントを実施するため市内団体等に、感染症対策のため、体表面温度計測器や消毒液噴霧器を貸出しするため、当該機器を購入する。

(事業費内訳)
 1,009千円

機器購入 1,009千円

- ・体表面温度計測器（ハンディー型サーマルカメラ） @71,240 × 10台 × 1.10 = 783,640円
- ・自動消毒液噴霧器（オートディスペンサースタンド） @20,500 × 10台 × 1.10 = 225,500円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174470	イベント開催時感染症対策支援事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3